ボーリング柱状図

調査名	福山沼隈線道路改良事業に伴う業務委託（５工区）
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

ボーリング名	B－30－6	調査位置	広島県福山市草戸町四丁目	北緯	34° 28’ 29.2571”
発注機関	広島県東部建設事務所　福山幹線道路建設事業課	調査期間	平成 30年 8月 25日 ～ 30年 9月 1日	東経	133° 21’ 31.6195”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	3.26m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	
総掘進長	32.00m								

試錐機	東邦D1－C	ハンマー落下用具	半自動
エンジン	ヤンマーTF－120M	ポンプ	東邦BG－3C

標高(m)	層厚(m)	深度(m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	
2.66	0.60	0.60	砂礫	灰褐	密な		(盛土) φ2～50mmの角礫を40～50%混入。基質は極粗～粗砂。GL-0.15～0.20m間はコンクリート。	
1.96	0.70	1.30	礫混じり砂	褐	中ぐらい		(盛土) 含水少ないマサ土主体。φ5～10mmの亜角礫を5～15%混入するシルト混り極粗砂主体。	
0.66	1.30	2.60	シルト混じり砂	灰褐	非常に緩い		シルト混じりの未固結な粗～極粗砂で含水は中～大（GL-1.50m以深で大となる）。φ10mm以下の亜角礫をわずかに混入。GL-1.60～1.70m間、1.80～1.90m間に粗砂の薄層を挟む。	
-1.64	2.30	4.90	砂	褐	緩い		層状砂層(極粗～中砂)。含水は中～大でφ10mm以下の亜角礫をわずかに混入。GL-2.90m付近、4.70m付近に層状シルト、3.65m付近にブロック状シルトを混入。	
-3.64	2.00	6.90	シルト質砂	暗灰	非常に緩い		シルトを多含する未固結な極粗～粗砂。含水は中位で、下部ほど細粒となる。GL-5.80m付近、6.80m付近にシルト薄層挟む。	
-6.54	2.90	9.80	砂質シルト	暗灰		非常に軟らかい	粗～中砂を混入する未固結なシルト。含水は大～中で、粘性は中位。GL-8.00m以浅に貝片まばらに混入する。GL-9.45～9.60m間に中砂薄層挟む。	完新世
-8.39	1.85	11.65	シルト質砂	暗灰	非常に緩い		シルトを多含する中～粗砂。含水は大～中位。GL-11.50m付近、11.60m付近にシルト薄層を挟む。	
-11.74	3.35	15.00	礫混じり砂	暗灰～褐	密な		φ5～30mmの亜角～亜円礫を10～25%混入する。基質は未固結なシルト混り粗～極粗砂で、含水は中位。	
-14.74	3.00	18.00	砂礫	褐灰	密な		φ5-40mmの亜角～亜円礫を30～40%混入する。基質は未固結なシルト混り極粗砂～細礫で含水は中位。GL-15.90m付近、16.75m付近、17.50m付近は礫含有少なく礫混り砂状。	
-20.74	6.00	24.00	礫混じり砂	褐	密な		φ5～30mmの亜円～円礫を10～30%混入する。基質は半固結状のシルト質極粗～粗砂主体。含水は中～小だが、GL-18.00m付近は大となる。	更新世
-22.44	1.70	25.70	砂礫	褐	非常に密な		φ5-30mmの亜角～亜円礫を30～40%混入する。基質は半固結状のシルト混り極粗砂主体で、含水は小～中。	
-23.44	1.00	26.70	礫混じり砂	褐	中ぐらい		φ5～25mmの亜円～円礫を10～20%混入する。基質は半固結状のシルト混り極粗～粗砂で、含水は小～中。	

孔内水位(m)／測定月日：9/25 1.50、8/28 2.00、8/29 2.00、8/30 1.20

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	4	4	4	12/30	12
2.15	1	2	1	4/30	4
3.15	1	2	2	5/30	5
4.15	2	3	3	8/30	8
5.15	1	1	1	3/30	3
6.15	1/20	1/20		2/40	2
7.15	1/20	1/20		2/40	2
8.20	1/30			1/30	1
9.15	1/15	1/15		2/30	2
10.15	1/15	1/15		2/30	2
11.15	1/20	1		2/30	2
12.15	10	12	9	31/30	31
13.15	8	12	11	31/30	31
14.15	8	10	13	31/30	31
15.15	13	19	18/9	50/29	52
16.15	17	17	16	50/30	50
17.15	15	11	17	43/30	43
18.15	21	15	14/9	50/29	52
19.15	14	20	16/7	50/27	56
20.15	12	17	10	39/30	39
21.15	14	12	11	37/30	37
22.15	13	14	14	41/30	41
23.15	12	10	15	37/30	37
24.15	14	20	16/7	50/27	56
25.15	17	15	18/9	50/29	52
26.15	9	10	10	29/30	29
27.15	16	19	15/7	50/27	56
27.42					

原位置試験

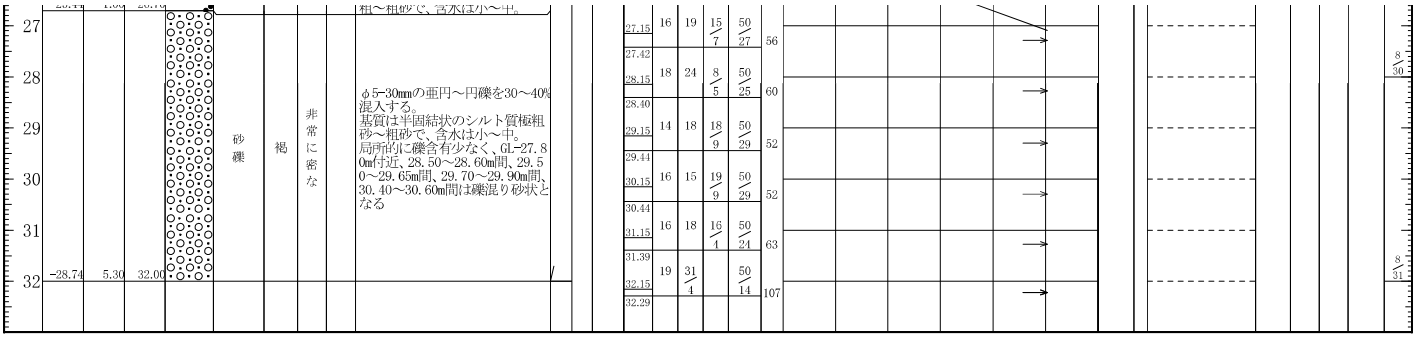
深度(m)	試験名および結果

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：8/25、8/27、8/28、8/29


27
28
29
30
31
32
−28.74
5.30
32.00
砂礫
褐
非常に密な
粗～粗砂で、含水は小～中。
φ5−30mmの亜円～円礫を30～40%混入する。
基質は半固結状のシルト質極粗砂～粗砂で、含水は小～中。
局所的に礫含有少なく、GL−27.80m付近、28.50～28.60m間、29.50～29.65m間、29.70～29.90m間、30.40～30.60m間は礫混り砂状となる
27.15
27.42
28.15
28.40
29.15
29.44
30.15
30.44
31.15
31.39
32.15
32.29
16
19
18
24
14
18
16
15
16
18
19
15/7
50/27
8/5
50/25
18/9
50/29
19/9
50/29
16/1
50/24
31/4
50/14
56
60
52
52
63
107
8/30
8/31